



私たちに身近なウナギは遥か外洋で産卵し
 幼生は長い旅をして日本にやってくるのです。

資料農林水産技術会議事務局作成

ウナギは、川や内湾で5年から10年程度生活したのち、秋から冬に川をくだり、グアム西方の西マリアナ海嶺付近の産卵場に向かいます。夏から秋にそこで生まれたウナギの幼生は、北赤道海流と黒潮に乗り、2000～3000kmの長い旅をして11月から4月頃、日本にやってきます。



問い合わせ先

鹿児島県水産振興課 漁業調整係、栽培養殖係
 TEL099-286-3428, 3433

鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会 作成
 鹿児島県内水面漁場管理委員会
 鹿児島海区漁業調整委員会
 熊毛海区漁業調整委員会

ルールを守り
 ウナギを守る

ウナギたちは遥か遠い海で
 産卵をむかえます。

ウナギ生産量
 日本一!
 鹿児島県

平成29年度から
 5ヶ月間に拡大!

10月から2月は
 ウナギの
 採捕禁止!

鹿児島県内水面漁場管理委員会(奄美群島は除く)、
 鹿児島海区漁業調整委員会、熊毛海区漁業調整委員会による委員会指示
 いま、産卵のために川を下るウナギの保護が
 必要となっています。

内水面漁業協同組合の取組

県内の内水面漁業協同組合ではウナギ資源の回復のため今回の委員会指示でウナギ採捕の禁期間とした10月から2月までの間以外にもそれぞれの行使規則・遊漁規則で一定の禁止期間を定めている場合があります。